

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	10	104620	萬鉄五郎記念美術館企画展示事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-5	芸術文化の振興		
	施策	1	芸術文化活動の推進		
目的	萬鉄五郎の画業を顕彰するとともに、優れた美術作品の鑑賞機会を提供する。				
対象	市民等				
意図	先人の理解を深めるとともに、芸術文化に関心や親しみを感じる市民を増加させる。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
1	企画展覧会（収蔵品展を含む） (1) 萬鉄五郎を読み解く展 4月23日～7月10日 (2) みつはしちかこ「小さな恋のものがたり展」 7月16日～9月25日 (3) 杉村英一展 10月1日～11月27日 (4) 収蔵品展 2月25日～3月31日（4月5日）				
2	市共同企画展（先人顕彰） 「ぐるっと花巻 内村皓一展」 12月3日～2月19日				
3	関連事業 (1) ワークショップ（みつはし展）、ギャラリーコンサート（杉村展）の開催 (2) 美術をより楽しむための美術講座の開催（年3回） (3) 美術館情報リーフレットの発行（年6回） (4) 八丁土蔵ギャラリーにおける現代作家展の開催（3展）				
市民参画の有無	〔 有 〕				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	<input type="radio"/> 事業協力・協定		
	後援・協賛	補助・助成	<input type="radio"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 実開館日数	日	計画	286	290	
		実績	276	288	
② 企画展覧会の数	件	計画	5	5	
		実績	6	5	
③ 関連事業の数	件	計画	8	6	
		実績	8	6	
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 入館者数	人	目標	10,000	10,000	
		実績	9,299	11,734	
② 美術に関心を持つ人の割合	%	目標	75.0	75.0	
		実績	90.0	83.8	
③ 関連事業への参加者数	人	目標	290	355	
		実績	356	253	
成果指標の達成度	目標値より高い	<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）		
新規事業なし、成果指標の変更なし		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	県内には博物館法上の登録美術館は4館しかなく、美術鑑賞の機会が限定的であることから、市民等に対し身近で適正な負担で美術鑑賞の機会を提供するものであり、公共関与は妥当である。
	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	過去に比較し展覧会経費が半減し入館者も減少しているが、話題性や知名度の高い展覧会など重点的に選択することにより、集客力や満足度の向上し、成果が高まる余地がある。
	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	県内には当館と同規模の美術館はないが、県外同規模館の職員数は12人（正職員6名、臨時職員6名）、事業費は1,500～1,800万円となっており、事業費・人件費とも削減余地はなく、効率的な執行といえる。
有効性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	入館料は、「特別展示にかかる特別入館料の基準（平成22年3月決済）」に基づき、重要度、人気度（集客度）及び事業費の基準に照らして、企画展ごとに適正に設定しており、公平性が確保されている。
	総合評価 …上記評価結果の総括	
	○毎年の展覧会の企画にあたっては、幼年・親子を対象としたもの、熟年・高齢世代を対象としたもの、美術愛好家を対象としたもの、市民一般を対象としたものなど、バランスの取れた展覧会に心掛けた。 ○平成28年度では、美術愛好者向け及び萬鉄五郎の顕彰企画として「萬鉄五郎を読み解く展」、幼年・親子向け企画として「みつはしちかこ展」、美術愛好家向けとして「杉村英一展」、市民一般・高齢者向けには市共同企画展として「内村皓一展」を計画した。 ○この結果、特にみつはしちかこ展は、女性を中心に計画を上回る入館となり、また、内容についても大好評であった。	

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	10	104620	萬鉄五郎記念美術館企画展示事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		18,642	9,631		△ 9,011
財源 内訳	国・県				
	地方債	4,900	6,000		1,100
	その他	10,815	3,226		△ 7,589
	一般財源	2,927	405		△ 2,522

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
 ○芸術文化の振興のため市民が美術に親しむ機会の提供とともに、郷土の先人に対する理解を深めます。
 ○美術鑑賞にふさわしい施設環境の整備に努めます。

事業開始の背景・経緯
 住民の強い要望と資金提供により昭和59年5月に開館し、以後、萬鉄五郎の画業を顕彰する展覧会をはじめ、岩手ゆかりに美術家や日本美術史上重要な役割を果たした美術家の展覧会を実施するとともに、近年は現代作家にも焦点を当て、県内第1号の公立美術館として常に美術普及の先頭に立ってきた。

事業概要
 1 企画展覧会（収蔵品展を含む）
 (1) 萬鉄五郎を読み解く展 4月23日～7月10日
 (2) みつはしちかこ「小さな恋のものがたり展」 7月16日～9月25日
 (3) 杉村英一展 10月1日～11月27日
 (4) 収蔵品展 2月25日～3月31日（4月5日）
 2 市共同企画展（先人顕彰）
 「ぐるっと花巻 内村皓一展」 12月3日～2月19日
 3 関連事業
 (1) ワークショップ（みつはし展）、ギャラリーコンサート（杉村展）の開催
 (2) 美術をより楽しむための美術講座の開催（年3回）
 (3) 美術館情報リーフレットの発行（年6回）
 (4) 八丁土蔵ギャラリーにおける現代作家展の開催（3展）

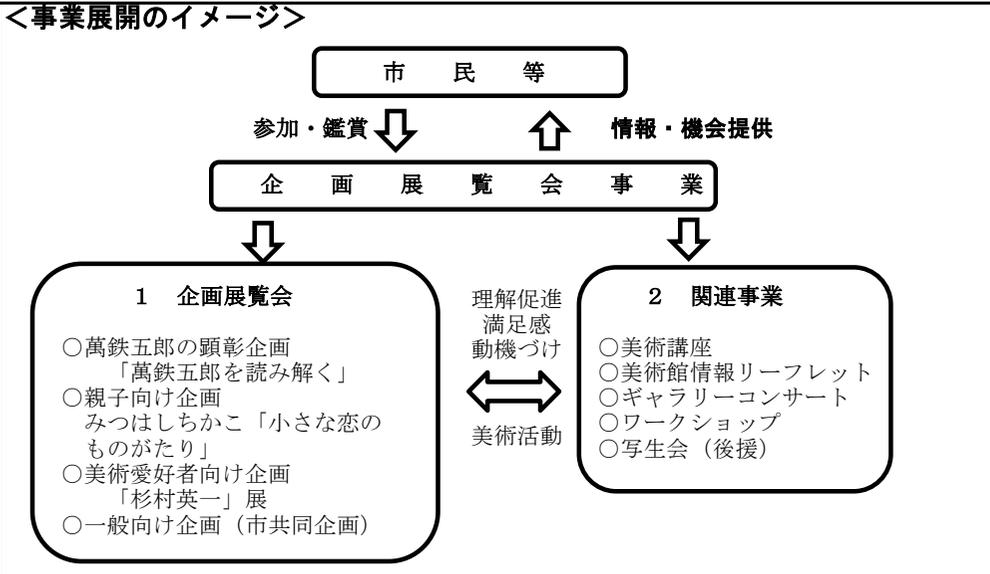
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- 施設の各設備が老朽化していることから、こまめな修繕など適正な施設管理に努める。
- 今後の美術館の在り方等について基本方針を構築する。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 萬鉄五郎記念美術 担当係長 平澤 広 内線 42-4402

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



＜事業費の概要＞

展覧会別経費の概要

節	金額	説明	萬を読み解く	みつはし展	杉村展	収蔵品・90年	維持・備品
8	272	講演会講師、筆耕謝礼等	156		116		
9	351	作品調査等旅費	45	32		274	
		作品借用費用弁償					
11	3,744	消耗品費	52	525	130	624	
		印刷製本費	499	380	1,157	347	
		食糧費	13	10	7		
12	615	通信運搬費	7	219	104	236	
		動産保険料		10	39		
13	4,549	展示・撤収業務	497	442	630	375	
		写真撮影業務		108	226		
		企画立案・監修業務		1,015			
		額装業務・看板製作	104	231	645		
		現代作家展・情報紙制作発送				94	
		サーバー更新				182	
14	100	作品借用料			100		
18							
計	9,631		1,373	2,972	3,154	2,132	